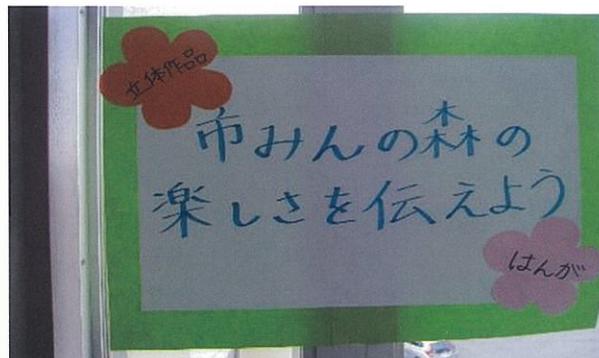


令和元年度 一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱

校外教育研究紀要

研究主題

地域を愛し、地域とともにより良い自分を目指して成長する児童の育成



鶴ヶ島市立藤小学校

〒350-2206 鶴ヶ島市大字藤金 330 番地

TEL 049-288-6220 FAX 049-271-4287

1 はじめに

本校は、昭和58年に開校し、今年度36周年を迎えた。児童数442名、15学級（通常13、特支学級2）の学校である。

2 研究の概要

(1) 研究テーマ及びテーマ設定理由

テーマ：地域を愛し、地域とともにより良い自分を目指して成長する児童の育成

設定理由：本校の学区は核家族が多く、生活の中で高齢者の方々と触れ合う機会が少ない。その一方で、学校応援団や校務員さんなど学校生活の中で高齢者の方のお世話になる機会はある。高齢者の方への尊敬の念と配慮等を学び、探求的な学習を通して、地域の一員としてよりよい社会を創り出そうと考え実践に移せる児童を育成しようと考え設定した。

(2) 研究計画

○研究のねらい

学年の発達段階に応じた地域の高齢者等との交流を通じ、地域福祉の実践力向上を図る。

○スケジュール

1年生 (11月)	・昔の遊びを教えていただく会で地域の老人会の方々と交流（今年度は、インフルエンザが流行し、学級閉鎖のため中止）
2年生 (10～11月)	・まち探検を通して、地域の方々に親しみと愛着をもつ。
3年生 (6～7月)	・「里山サポートクラブ」の方のお話を聞き、市民の森への思いを知る。 ・より良い市民の森について考え、発表する。
4年生 (4～7月)	・高齢者施設「みどりの風」の方のお話を聞く。 (4月) ・高齢者疑似体験をし、高齢者の方との接し方を考え

	<p>る。(6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みどりの風」を訪問し利用者の方々と交流する。 <p>(5月・7月)</p>
5年生 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人会の方々と交歓給食を行い、地域が望む藤小学校についてお話を聞く。(今年度はインフルエンザが流行し中止)
6年生 (4～10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴ヶ島市の高齢化率から30年後の鶴ヶ島を予想し、福祉の必要性を考える。 ・福祉協議会や市役所の方などからお話を聞き、自分たちの考える地域福祉を提案する。 ・災害時等に高齢者の方等にも安心,安全なまちづくりについて考える。 ・福祉協議会,市役所,自治会,学校応援団の方々等と共に避難所運営(HUG)ゲームを行う。

3 活動の様子

○まち探検の様子(2年生)



○市民の森での活動等の様子（3年生）



【市民の森で見つけた材料で製作】

○高齢者施設での様子（4年生）



○避難所運営 (HUG) ゲームの様子 (6年生)



○地域防災学習の様子 (6年生)



【災害時の危険場所の確認】



○環境美化活動の様子 (PTA主催)



4 研究の成果と課題

・本校は比較的、校外学習を実施するにおいて、自然に囲まれた環境の中で学習活動ができると同時に、地域の福祉施設にも隣接されていたり、学校から徒歩数分～数十分で様々な学習場所へ行ったりして活動ができる立地にある。多様な交流活動を通して、多様な人間関係力が身につくことにより、自分の地域を愛し、自己肯定感を高めながら、より良い自分を目指して成長する育成につなげることができた。地域との交流の機会をさらに設け、互いを理解し、思いやれる心の育成も目指していきたい。

